

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	シンガポール国立大学 (国名:シンガポール)		
留学先学部名(またはプログラム名)	交換留学		
留学期間	2015 年 8 月 ~ 2016 年 5 月		
学部/学府・年次	経済学部	学部/学府	3 年次~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (期間:)		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため <input type="checkbox"/> 4. その他(具体的に記入)		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	特になし		
進路の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 就職 (時期: 4月から / (2017)年 (4)月から) <input type="checkbox"/> 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) <input type="checkbox"/> 3. その他(具体的に:)		
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	五年次の春から就職活動を開始する予定		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	しました		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?			
1. 留学先大学について			
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>学期は前期(8月初旬~12月初旬)と後期(1月初旬~5月初旬)の構成である。学期休みは 12 月と 5 月~7 月である。学期は Week1-13 までである。間にある RecessWeek と Readingweek それぞれ一週間は授業がない。学期中は、3~5個の授業を取るのが一般的である。一つの授業は、Tutorial と lecture で成り立つ。授業には Module 番号があり 1000 番台は入門で数字が上がるにつれて、専門化していく。</p> <p>課題は毎週の Reading や、グループプロジェクトやエッセイである。</p> <p>言語の授業は比較的授業数や、課題は多い傾向にあるが、どの授業を取るのかによって、課題は大きく変わってくるので一概には言えない。</p>		

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面に関して、期末テストは、ネイティブでない留学生には辞書の持ち込みを申請することができる(紙の辞書に限る) 講義での英語はなまりも少なく聞き取りやすい。シンガポールのアクセントは強いが、問題ないと思う。友達やクラスメイトも、自分のアクセントのある英語をしっかりと聞いてくれる寛容性がある。初めて海外で住む人や英語に少し自信のない人でも大丈夫であると思う。</p> <p>勉学面に関しては、オフィスアワーやTAで質問をすることができる。</p> <p>精神面、特に利用していない。試験期間中にリフレッシュできるようなイベントを準備していた。</p> <p>住居・生活面に関して、勉強する環境が整っている。試験期間中には席が埋まることがあるが、問題なく勉学に集中できる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>勉学面に関して、日本の大学と異なる方法での授業の進み方や、言語の違いで戸惑うことがあった。しかし、Tutorialでの、ディスカッションやグループプレゼン、スピーチを通して学ぶことが多かった。授業のコマ数は、比較的少ないほうだったので時間をどのように使うのが重要と思った。一年間で英語能力は大きく向上できたと感じる。</p> <p>生活面に関しては、学期の始めに、留学生を対象としたイベントが多く企画されているので、留学生の友達の輪をそこから広げることができた。アジアだけではなく、ヨーロッパからの留学生が非常に多く、世界中の学生と交流ができる素晴らしい環境であると思う。手続きや連絡はオンラインやメールでのやり取りが多いため、連絡の漏れがないように気を付けた。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>シンガポールやアジアに興味がある人はぜひ留学してほしい大学である。また、治安も非常によく海外が不安な人でも安心して留學生活を送れる。また、アジアにしながら、ヨーロッパからの留學生や日本のトップ大学からきた日本人留學生とも仲良くなり世界中に友達の輪が広がった。一方で、休み期間中に東南アジアの国々を旅行できアジアの文化や独特の雰囲気、またシンガポールの都会の町並みを味わうことができ、多くのことを経験し学ぶことができると思う。</p> <p>留學前は、英語能力の向上に努めるのを第一に勉強してほしい。やはり日本語は使えないので、英語はできればできるだけ、楽になり留學生活をより充実できると思う。また、手続きもオンラインで大変であると思う。授業の選択は、こちらに来てから直接オフィスで追加や取り消しすることができるので、科目選択は、着いてからも自分次第で変えられると思う。</p> <p>必ず成長できる留學先です。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>StudentPass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>Immigration & Checkpoints Authority (ICA)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>大学から事前に学生ビザの申請方法が教えられて、オンラインで申請をする。大学のキャンパス内で、提出書類と証明写真を申請する。 (もし書類に不備があれば、再度そろえて直接提出に行く)</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>2週間～3週間</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>特になし。 健康診断書が日本語であったため不備となり、大学の病院で再度健康診断を受けた。要注意</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>エアコンがない寮の部屋であったため、はじめは暑さになれるのに苦労した。慣れてくると問題なかった。逆に教室や共有スペースはエアコンが効いており寒いほどである。食事は、食堂が寮についているため、常にそこを利用していた。有名な各国の料理があり選択肢は多い。外のレストランも豊富でよく利用した。日本食のお店も多い。交通網は MRT(地下鉄)とバスを利用した。値段も安く非常に使いやすくどこに行くのも不便しなかった。気候は、常夏である。雨も 2、3 時間ほどで止むため、特に気にすることも少なかった。治安は非常によく、夜中の終電で帰ることもしばしばあった。日が沈むのも遅く夜も安心であるので、1日の活動時間は長いほうと思う。</p> <p>キャンパス内は無料の学内バスで移動した。</p> <p>10月ごろは Haze がひどいのでマスク対策など覚悟しておいたほうがよいと思う</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 7万~8万 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 4万3千ほど円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 3万~4万円、電話代: 0円、インターネット代: 0円、書籍代: 0円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>スーツ、証明写真、スポーツシューズ、防寒着</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>バスの利用は“CityMapper”や“Google, map”を利用したらよい。</p> <p>海外で SIM カードが使える携帯を持っていない人は、現地で購入する必要がある。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>新生銀行の口座を開設し、その口座からシンガポールで現金を引き出した。どこにでも ATM があり新生銀行に対応していたため、手数料なく利用することができた。この口座に奨学金を入金してもらい利用した。</p> <p>海外口座の開設は行わなかった。海外で開設してそこに仕送りをしてもらっている人もいた。</p> <p>クレジットカードは VISA カードを一枚持って行った。大学関係の支払いや、休暇中の旅行の支払いに用いた。そのカードが使えない時があるので、その時のためにもう一枚持って行っても良いと思う。VISA と MasterCard の二つを</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・寮 <input checked="" type="checkbox"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	前期 PGP 27 Prince George Park, Singapore 118425 後期 Utown Residence 36 College Ave E, Utown residence, Singapore 139105	
費用(月額)		
どのようにして見つけたか	前期は留学前に大学の案内よりオンラインで申請 後期は、前期終了ごろに、大学からの引越申請のメールから、オンラインで申請	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦できる。 治安が良く非常に住みやすい。また、東南アジアの文化を実感できる。地理的にほかの国に旅行ができる、6 か国ほどは留学期間中に回ることができた。一方で、留学生は欧米からが多く、欧米の友達と遊ぶことが多く、アジアと欧米の両方に関わる事ができる。また、授業の質も高く、勉強するには非常によい大学であると思うからである。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	WhatsApp シンガポールでの LINE CityMapper バスのアプリ Maps.me データ無で、現在地と地図を確認できる シンガポールお役立ち web	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

--	--	--

6. その他の特記事項

--